

第 15 回 奈良公園地区整備検討委員会 議事録

I. 開催概要

日 時：令和元年 8 月 30 日（金）10 時 00 分～11 時 30 分

場 所：奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～ 別館 2 階 会議室 5

出席者：委 員 長 増井 正哉

委 員 北口 照美、佐野 純子、塚口 博司、見山 高幸、益田 昇、中西 康博、
森本 恵史、坂田 智哉、尾形 裕明、遊津 隆義

事 務 局 奈良県まちづくり推進局奈良公園室

関係部局 《奈良県》 まちづくり推進局理事、次長、次長、奈良公園事務所、
総務部管財課、地域振興部文化財保存課・文化資源活用課、
観光局ならの観光力向上課、景観・環境局景観・自然環境課、
農林部マーケティング課

《奈良市》 観光経済部観光戦略課、都市整備部都市政策課・都市計画課、
教育総務部文化財課

議 事：吉城園周辺地区保存管理・活用事業について

II. 議事概要

- ・ 整備された人工的な庭のなかにも自然的な要素が感じられるようマネジメントする段階においても配慮すべき。
→整備前の状況を報告書で残すと共に、今回の計画も保存を基本としているが、さらに知事公舎の庭の木々や生き物の継承を引き続き考えていく。
- ・ 知事公舎の追加調査で明らかになった価値が、活用されることにより感じられることや、失われていた眺望が取り戻された計画となったことが良い。
- ・ 南から知事公舎にたどり着ける動線が新たに整備されるが、そのことが地割りの雰囲気に影響しないか。
→南庭の雰囲気を壊さないよう、庭の重要な構成要素である築山を迂回するような動線計画としている。
- ・ 価値づけを発掘していくことで活用のアイデアが広がっていった例であり、他事業の今進め方にも参考として欲しい。
- ・ 奈良公園では様々な事業が進んできているので、この段階において吉城園周辺地区内のだけでなく、公園全体の歩行者と自動車動線についても議論がしていくべき。
- ・ 基本戦略の見直しについては、どのように対応するか。
→見直しのスケジュールや具体的な内容について整備検討委員会で意見を伺いたい。
- ・ 価値を守り、魅力を活かし、さらにそれらをも高めるためにも、個々の拠点をつなぐ移動手段をどのように考えていくのかということが重要。特に、奈良公園バスターミナルからの、歩行者を中心とした移動手段を実現するような議論が必要。

以上